答申に対する対応について

令和6年9月18日付の犬山市公文書管理審議会の答申に対する対応 は下記のとおりです。

取下げ理由の修正について

「資料 5 歴史的公文書取下げ文書リストに記載の取下げ理由」について、恣意性が生じない客観的な説明に修正する必要があるとの指摘を受け、次頁のとおり取下げ理由を修正しました。

現物の確認が取れなかった公文書について

審議会の会場に現物を用意することができなかった教育委員会(文化推進課)が所管していた歴史的公文書については、その後の捜索により全て発見することができました。

歴史的公文書から取下げする公文書数の見直しについて

審議会に対して、歴史的公文書から取り下げを諮問した公文書は当初 5 4 冊でしたが、審議会での意見を踏まえ精査したことにより、歴史的 価値を有すると判断し直した文書は37冊となったため、最終的に歴史 的公文書から取下げする公文書は17冊となりました。

上記、対応について各審議会委員に報告させていただき、取下げ理由 の修正および対象文書の見直しについて承諾をいただきました。

			【秋月女兵五】					員付3
分類 (審議会用)	分類番号	作成年度	ファイル名称	保存 期間	作成課	所管担当	備考	取下げ理由 (審議会用)
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和53年度	楽田地区学習等供用施設 新築工事の内地質調査	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書というで、歴史的公文書という文書の性質を鑑みると選別基準「12」での整理は適当ではない。また、地質調査は、楽田地区学習等供用施設新築工事に伴い、基礎地盤の地る学習等供別を把握し、設計施工の対策を立ての調査に対策を立てある。この調査であり、大山市である。この調査であり、大山市に関係であり、大山市に関係であり、大山市に関連であり、本文書の保存期間の位置であり、本文書の保存期間の位置であり、本文書の保存期間の位置であり、本文書は歴史的公文書から、本文書は歴史的公文書から通常文書へ取り扱いを変更し保存年限が経過した文書として廃棄することとしたい。
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和55年度	犬山市楽田地区学習等供用施設 工事関係綴	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、防音壁設置工事の施等していたが、防音壁設置工事に関する書類(以下「防音壁設置工事に関する書類を鑑みると選別基準「12」での整理は質があると選別基準「12」での整理は適当ではない。また、防音壁設置工事に関する書類では、その記録である工事に関する書類に関するものであることに照するものが妥当であり、本文書に関する書として明まるのが妥当であり、本文書の保存と規定されていることに照りまた、防音壁設置工事に関する書として明まるのが妥当であり、本文書に類する大書として明まるのが妥当であり、本文書の保存と関するのが妥当であり、本文書の保存と関するのため、本文書は歴史的公文書としたが多い。

分類				保存				取下げ理由
(審議会用)	分類番号	作成年度	ファイル名称	期間	作成課	所管担当	備考	(審議会用)
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和54年度	犬山市楽田地区学習等供用施設 新築防音工事	3 0 年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、新築防音工事に関するしゅん功届や図面(工事日報、各種報告書)等(以下「しゅん功届、図面等」といった文書の性質を鑑みると選挙「12」での整理は適当ではない。
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和54年度	楽田地区 学供施設 工事	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、付帯工事に関する建築事務所の決定、地質調査委託や設計委に関する書類」という。)は、文書の性質の整理は適当ではない。また、附帯工事に関する書類は、新設立ではない。また、附帯工事に関する書類は、新設立てはない。また、附帯工事に関する書類は、新設立てはない。また、附帯工事に関する書類は、新設立てはない。また、附帯工事に関する書類は、新設立てはない。また、附帯工事に関する書類は、新設立ではない。また、附帯工事に関する書類は、新設立てはない。事に伴い設計施したものである。これでは、新築工事に関するものの別表に関するものの別を是正するがより、本文書に関するものに、また、新築工事に関するものの別である。そのため、本文書は歴史的公文書からがより、本文書は歴史的公文書からがより、本文書は歴史的公文書から、本文書は歴史的公文書から、本文書は歴史的公文書から、本文書は歴史的公文書から、本文書は歴史的公文書から、本文書は歴史的公文書から、本文書は、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、大田、

分類 (審議会用)	分類番号	作成年度	ファイル名称	保存 期間	作成課	所管担当	備考	取下げ理由 (審議会用)
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和55年度	城東地区学習等供用施設(工事)①	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、工事概算書や地質調査等といった文書の性質を鑑みると選別基準「12」での整理は適当ではない。また、工事概算書や地質調査等の文書は、一工事の記録であり、犬山市公文書管理条例の別表で「工事の施行に関する文書として整理するのが行と、工事概算書や地質調査等の文書は、10年保存と規定されていることに照らすと、工事概算書や地質調査等の文書は、10年保存文書として整理するのが妥当であり、本文書の保存期間の位置づけを是にする必要がある。そのため、本文書は歴史的公文書から通常文書へ取り扱いを変更し保存年限が経過した文書として廃棄することとしたい。
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和56年度	城東地区学習等供用施設 工事②	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、監理業務着手届や工事内訳明細書等といった文書の性質を鑑りると選別基準「12」での整理は適当では高当での整理は適当での整理は適当での整理は適当であり、大山市公文書は、施設新築工事であり、大山市公文書であり、大山市公文書を見たであり、大山市公文書を見た。管理業務着手の別表で「工事の施行に関するものであり、大田では、10年保存と規定されていることに照らし合わすと、管理業務有主であり、本文書の保存と規定されていることに照らし合わすと、管理業務有主であり、本文書の保存と規定されていることに照らし合わすと、10年保存と規定されているであり、本文書の保存と見てを理するのが受きとしてを要することとしたの。

. <u></u> .			【初月女兵五】症又門五人自					其47.5
分類 (審議会用)	分類番号	作成年度	ファイル名称	保存 期間	作成課	所管担当	備考	取下げ理由 (審議会用)
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和56年度	城東学供出来形申出書・調書 (56年度)	3 0 年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、新築防音工事の出来形検査申出書といった文書の性質を鑑みない。 また、新築防音工事の出来形検査申出書は、工事の部分払い請求のために、がまた、新築防音工事の出来形検査申出書は、工事の部分払い請求のために、が提出した工事記録一部であり、建設業法で書類の保存期間が建物引に関いら10年と義務付けられていること、大山市公文書管理条例の別なもで「工事の施行に関するもので重要ならい。と、また、犬山市公文書管理条例の別なもで「工事の施行に関するもので重要ならした、出来形検査申出書に類するととしたで「工事のより扱いを変更し保存年間である。そのため、本文書は歴史的公文書から通常文書へ取り扱いを変更し保存年限が経過した文書として廃棄することとしたい。
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和56年度	城東学供入札契約 56年度	3 0 年	文化推進課	生涯学習担当	1 3	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「13 契約及び協定に関するもので重要なもの」で、歴史的公文書として保存していたが、入札の執行、請負人の決定及び契約等書類といった文書の性質を鑑みると選別基準「13」での整理は適当ではない。また、入札の執行、請負人の決定及び契約等書類は、城東地区学習等供用施設等の記録であり、大山市公文書の記録であり、大山市公文書を提定するのが10年保存と規定されて、請負人の決定及び契約等書類は、10年保存文書に照らし合わすと、入札の知行に関するとに照らし合わすと、入札の年の決定及び契約等書類は、10年保存文書としに関する文書として発理するのである。そのため、本文書は歴史的公文書からがより扱いを変更し保存年はがいる。

分類 (審議会用)	分類番号	作成年度	ファイル名称	保存 期間	作成課	所管担当	備考	取下げ理由 (審議会用)
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和56年度	城東地区学習等供用施設 56年度 (工事関係)①	3 0 年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、施設新築防音工事施行伺いや監理委託等(以下「施設新築防音工事施行伺い等」という。)といった文整理は適当ではない。また、新築防音工事施行伺い等の文書は、新築防音工事施行伺い等の文書は、新築防音工事施行伺い等の文書は、新築防音工事施行伺い等の方に関するもので重要なもの」が10年保存と規定されていることに照らし合わすと規定されていることに照らし合わすと、施設新築防音工事施行伺い等の文書は、10年保存文書に類する文書としてをと、施設新築防音工事施行伺い等の方と、施設新築防音工事施行伺い等の方と、施設新築防音工事施行伺い等の方と、施設新築防音工事をして照らした、を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を
9 教育文化—4 社会教育—2 社会教育施設	9 4 2	昭和57年度	大山市羽黒地区学習等供用施設新築防音及び 大山市役所羽黒出張所改築工事 契約書	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、契約書(作成者:横山建築株式会社)(以下「契約書」という。)といった文書の性質を鑑みると選別基「12」での整理は適当ではない。また、契約書は、犬山市和別黒地区学習出版所改築工事の契約書で、施設建設時間が現場であり、建設時間が開発者が提出した書類であり、建設時間が開発者が提出した書類であり、建設時間が開始でする。大山市公文書を見から、大山市公文書は、10年保存文書に関らした、契約書は、10年保存文書に関いる文書として整理するのが妥当であり、本文書は歴史的公文書がある、そのため、本文書は歴史的公文書からがある。そのため、本文書は歴史的公文書からがある。そのため、本文書は歴史的公文書からがある。そのため、本文書は歴史的公文書からがある。とのため、本文書は歴史的公文書をしたい。

分類 (審議会用)	分類番号	作成年度	ファイル名称	保存 期間	作成課	所管担当	備考	取下げ理由 (審議会用)
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和57年度	犬山市立塔野地公民館建築工事 完了書類綴	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、完了届(作成者:愛北大村株式会社)(以下「完了届」という。)といった文書の性質を鑑みると選別基「12」での整理は適当ではない。また、完了届は、犬山市塔野地公民館建設工事の工事日報や打合せ記録、立主談及時に施行業者が提出財の保存と記録で、施設建設等に施行業者が保存財間れていること、また、犬山市に関するもの」が10年と義務付けられること、「工事の施行に関するもれている年保存文書に類する文書の保存期間の位置がある。そのため、本文書は歴史的公文書からが経過した文書として廃棄することとしたい。
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和60年度	上野地区学習等供用施設防音工事の内 地質調査報告書 昭和60年7月	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書というで、歴史的公文書という文書の性質を鑑みると選別基準「12」での整理は適当ではない。また、地質調査は、犬山市上野地区で計画された学習等供用施設防音工事地区で計画された学習等供用施設防音工事の施行に関連条例の別表で「工事の施行に関連条例の別表で「工事の施行に関連条例の別表で「工事の施行に関連を表別でするに照らし合わすと、「10年代を主に付帯する政書として関連するであるとに照らい合わすと、「10年代を当である。とのため、本文書は歴史がある。そのため、本文書は歴史がある。そのため、本文書は歴史がある。そのため、本文書は歴史がある。そのため、本文書は歴史がある。そのため、本文書は歴史がある。そのため、本文書は歴史がある。といきが表別に、

分類 (審議会用)	分類番号	作成年度	ファイル名称	保存 期間	作成課	所管担当	備考	取下げ理由 (審議会用)
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和60年度	上野地区学習等供用施設の出来形検査関係綴	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、出来形検査申出書といった文書の性質を鑑みると選別基準「12」での整理は適当ではない。また、出来形検査申出書は、上野地区学習等供用施設の新築防音工事に関すること、出来形検査時に施行業者が提出した文書であり、建設業法で書類の保存期間が建物引渡し日から10年と義務付けられていること、また、犬山市公文書管理条例の別表で「工事の施行に関するもれていることに照らすと、出来形検査申出ていることに照らすと、出来形検査申出ていることに照らすと、出来形検査申出ていることに照らすと、出来形検査申出て割りが多当であり、本文書に類する必要がある。そのため、本文書は歴史的公文書の保存年限が経過した文書として廃棄することとしたい。
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和60年度	上野地区学習等供用施設の業者提出書類	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、施設建設時に施行業文書の性質を鑑みると選別基準「12」での整理は適当ではない。 また、着手届、完了届等といったの整理は適当ではない。また、上野地区学習等供用施設の設計委託や附帯及びも書類であり、建設業法で書類の保存と関連を書類であり、建設業法で書類の保存と、建設業法で書類の保存と、また、犬山市公文書であり、建設業法で書類の保存と、また、犬山市公文書であり、本文書の保存と、着手届、として解するのが妥当であり、本文書の保存は10年保存文書に類する必要がある。そのため、本文書は歴史的公文書のはであり、本文書は歴史的公文書のの位置であり、本文書は歴史的公文書のに関いることに照らする。そのため、本文書は歴史的公文書のはであり、本文書は歴史的公文書としたのため、本文書は歴史的公文書としたのため、本文書は歴史的公文書としたのため、本文書は歴史的公文書としたのため、本文書は歴史的公文書としたのは、第2年に対して展示することとしたい。

分類 (審議会用)	分類番号	作成年度	ファイル名称	保存 期間	作成課	所管担当	備考	取下げ理由 (審議会用)
9 教育文化—4 社会教育— 2 社会教育施設	9 4 2	昭和60年度	上野地区学習等供用施設の入札関係綴り	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 3	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「13 契約及び協定に関するもので重要なもの」で、歴史的公文書として保存していたが、入札施行伺い等といった文書の性質を鑑みると選別基準「13」での整理は適当ではない。また、入札施行伺い等といった文書は、上野地区学習等供用施設の新築所音、小人工事であり、犬山市公文書管理条例の別表で「工事の施行に関するもの」が10年保存と規定されていったとに照らすと、入札施行伺い等といっまるの」が10年保存文書に類するもの」が10年保存文書に類する文書へとに照らすと、入札施行伺い等といったとに照らすと、入札施行伺い等といったとに照らすと、入札施行伺い等といったとに照らすと、入札施行伺い等といったといまするのが妥当であり、本文書は歴史的公文書のより扱いを変更し保存年限がる。そのため、本文書は歴史的公文書から通常文書へ取り扱いを変更し保存年限が経過した文書として廃棄することとしたい。
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和63年度	63 公民館建築費補助金交付申請書綴	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書としていたが、今井・虎熊などといする際に、市内の輔助金交付を申請するという。)の性質を鑑みるいき書等」という。)の性質を鑑みるいき書等」という。)の性質を鑑みるいき書等」という。)の性質を鑑みるいき書等に可以と、今井・虎熊等の公民館建築費補助金を交付等を表して、今井・虎熊等の公民館を新業山間の別表で「補助金を交付である。と、今井・虎熊等の公民館を新業山間の別表で「補助金を交付でませ、公文書はであり、本文書であり、本文書は歴史のが妥当では、本文書に類するとに照らすと、公民の主要である。とのため、本文書は歴史的公文書のにある。とのため、本文書は歴史的公文書を表して、本文書は歴史的公文書をしたが、本文書に対して、本文書は歴史的公文書をして、本文書に、本文書は歴史的公文書がある。とのため、本文書は歴史的公文書として、本文書は歴史的公文書として、本文書は歴史的公文書として、本文書は歴史的公文書として、本文書は歴史的公文書として、本文書は、本文書は、本文書は、本文書は、本文書は、本文書は、本文書は、本文書は

分類 (審議会用)	分類番号	作成年度	ファイル名称	保存 期間	作成課	所管担当	備考	取下げ理由 (審議会用)
9教育文化—4社会教育—2社会教育施設	9 4 2	昭和54年度	昭和54年度 犬山市楽田地区学習等供用施設新築工事	30年	文化推進課	生涯学習担当	1 2	本文書は、犬山市歴史的公文書選別基準第3条の「12 公有財産の取得、処分等に関するもの」で、歴史的公文書として保存していたが、防音壁の設置に関する工事関連書等といった文書の性質を鑑みると選別基準「12」での整理は適当ではあい。また、防音壁設置に関する工事関連書等は、犬山市楽田地区学習等供用施設で新築工事の記録であり、犬山市公文書管理条例の別表で「工事の施行に関するもれていることに照きする文書は、10年保存文書に類する文書として整理するので重要なもの」が10年保存と規定されていることに照き書等の文書は、10年保存文書に類する文書として整理するのでであり、本文書の保存期間の位置であり、本文書の保存期間の位置であり、本文書は歴史的公文書からがまる。そのため、本文書は歴史的公文書から通常文書へ取り扱いを変更し保存年限が経過した文書として廃棄することとしたい。